

令和2年11月定例会会議録

(令和2年11月16日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 11月定例会会議録

- 【開催日】 令和2年11月16日（月）
- 【場所】 八代市千丁支所2階 庁議室
- 【出席者】 北岡 博 教育長
富田 壽人 教育委員
松永 松喜 教育委員
水田 千春 教育委員
奥村 留美子 教育委員
- 【出席職員】 宮田 径 教育部長
松岡 猛 教育部総括審議員兼次長
和久田 敬史 教育部次長
松川 由美 教育政策課長
高嶋 宏幸 学校教育課長
岩崎 龍一 生涯学習課長
入佐 正夫 教育サポートセンター所長
松村 哲治 博物館未来の森ミュージアム副館長
五十嵐 誠 教育施設課長補佐兼建築係長
- 【事務局】 山本 雄二 教育政策課長補佐兼教育政策係長
西村 妙子 教育政策課参事
- 【審議事項】 <議案案件>
①八市教委議第35号 令和2年度教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について
1. 開会 (午後1時57分 開会)
2. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告
3. 議題
<八市教委議第35号> 令和2年度教育に関する事務執行状況の点検・評価報告書について
- 松川教育政策課長 8月定例会において教育委員の方々からいただいた意見及びその後2回開催した外部評価委員会において外部評価委員の方々からいただいた意見を取りまとめ、令和2年度教育に関

する事務執行状況の点検・評価報告書を作成した。資料により説明

奥村教育委員

あらためて、ひとまとまりになったものを見るといろいろな事業が行われていて、その評価が出されていることを感じる。時間と経緯を経てまとめられたものなので、ぜひこれをいろいろな機会に共通理解してもらえたらという思いである。ただ、八代市の重大課題は、学力の問題と不登校の問題であると言われているが、学力そのものが今回の冊子には取り上げられていない。そういうものなんだと。非常にデリケートな問題であるが、逆にいうと先生たちが粛々と進めておられることでもある。いろいろなところで八代市の重大課題は、学力と不登校と言われる中で、今後どこかの形で学校教育課の指導を中心に、学力のことを取り上げてほしい。熊本の学びが10月に提唱されて、資料も学校に届いていると聞いている。この時期が今後八代市の学力向上というより、学力の充実を目指すという一つのスタートラインにつま先を揃えた段階であると思う。今のタイミングは、コロナ禍で難儀しているのは、熊本県中の問題であって、その中で子供たちが本当に未来に生きる学力を身につけるにはどうしたらいいかという悩みは、全県一つのものだと思うので、コロナだからこそ、八代の子供たちに提供しなければならない本当の学力とは何かをじっくり考えて、この評価票の中にもいずれは出てくるものになれば、学力向上を推進している保護者や学校の先生にとっても頑張りの一つになるのではないかと思う。

富田教育委員

子ども支援相談事業の中で成果指標なしと記載がある。達成とかでなく、年間450件近くの相談があっているのだから、相談担当者が受け持った内容がどういうものだったか、どういう方策をとったかなどは出せるのではないかと思う。そうしないと何を支援したかわからないので、もう少し中身があってもいいのではと思った。

入佐教育サポートセンター所長

指標という形で、数字やパーセントで表すのはなかなか難しいことであるので、このような改善につながったなど、次年度からは文言を入れるようにしていきたいと思う。

奥村教育委員

政策評価というのは、ある評価基準をもって、できた・できなかったとなるものなので、どんな目標を抱くかで、評価結果のあり方も変わってくるのかなと思う。事業の特性からも数値

目標が設けやすいもの、記述にある評価を得やすいもの、設定しやすいものがあるのではないか。そういう観点から自己評価欄を見ていると達成・未達成の違い、自己評価が厳しいものもあれば、「〇〇と考えられる」という文末であっても達成となっている事業もあった。数字ばかり求めると数値主義になるが、なかなか数値で示せないものについては、こういう貢献があったなどの評価のあり方についても今後検討すると事業のあり方にも気持ちが向くのではないか。評価結果のあり様、見え方にも違いがあるなどと思った。

北岡教育長

この点検・評価票の作成に当たっては、教育委員会用ではなく、市全体で統一して行うものの資料を参考にしている。教育委員会だけで別の作り方にしてしまうと、教育委員会は、市全体のものと教育委員会のものと二重の作業を行うことになるため、統一した様式で作成している。また、成果指標をどう定めるかは、悩ましいところである。数値だけで見るとできていないことになるが、相談業務などは、一つの相談がずっと続き、なかなか解決できるような内容ではないが、相談者に相談員は寄り添っている。そのことによって、解決には結びついてはいないが、相談者の心の安定を図ったり、心配が少しは解消したりという状態になることはある。数値で表せるものがあり、何をどれだけやったかはっきりわかれば一番いいが、なかなか難しく、各課も頭を悩ませながらやっている状況がある。できるだけわかりやすい方法で表せるよう、今後も努力していく。

奥村教育委員

内部にいるため、また、学校で長く仕事をしていたということもあるため、この部分が難しいという面を知っていたり、書いてなかったとしても予想をつけたりすることができる。この評価票がどの程度公開されるかはわからないが、外部になるにつれて、知らないために数値や行数によって事業内容や教育委員会の仕事全般が評価されてしまうことが心配である。市民全体に知ってもらい、より応援してもらおうということが最終的なねらいであれば、まとめることは大変だろうが、今後も自己評価ということを勉強して鍛えられていけば、事業の運営にも生かされていくのではないかと思う。

松永教育委員

以前は、自己評価が厳しすぎたが、大分柔らかくなった。専門職の目で見ると厳しくなってしまうので、そうでない人たちが見てわかるような評価にしてもらおうとよい。

北岡教育長 思ったような結果にならないと、全部できていないということになってしまいが、それがすぐできるかというところというわけではないので、評価が厳しくなりすぎてしまう傾向はある。

資料についてだが、白紙を1ページ追加すると、1事業が見開きになるので、見やすくなると思うので検討してください。

宮田教育部長 21ページの説明を追加した部分で、文言を少し整理することが必要かと思われる。

北岡教育長 今の指摘部分については、担当課で修正し、作成するというところでよろしいか。

教育委員 全員異議なし

【議案第35号 承認】

4. 連絡事項
- | | | |
|------------|---------------------------|------------|
| 教育政策課 | 12/22 | 総合教育会議について |
| 学校教育課 | 八竜小・坂本中学校の坂本での教育再開について | |
| 生涯学習課 | まなびフェスタの中止及び作品展示について | |
| 教育サポートセンター | 年頭研修会の中止について | |
| 博物館 | 子ども美術展、スケッチ大会作品展示について | |
| 事務局 | 12月定例会日程確認 (12/22 16:00～) | |

5. 会議録署名委員の指名 松永委員・水田委員

6. 閉会 (午後2時43分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
